

川崎未来エナジー株式会社が事業を開始しました！！

2050年の脱炭素社会の実現に向けて、令和2年に、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定して以降、令和4年3月に「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」を改定する中で、「5大プロジェクト」の1つとして、「地域エネルギー会社の設立」を重要な施策に位置付け、取組を進めてまいりました。

昨年8月に出資者のパートナー事業者7者と開催した地域エネルギー会社の設立発起人会において会社設立に合意、同年10月に、本市の脱炭素化の推進において大きな役割を担う「川崎未来エナジー株式会社」を設立し、昨日4月1日から事業を開始しました。

同社は、今後、小売電気事業の事業規模を拡大しながら、再エネの地産地消を進めていくほか、電源開発やエネルギーマネジメントに取り組むこととしており、本市も同社と連携して市域の脱炭素化に向けた取組を加速させてまいります。

また、本市から常勤の取締役を派遣しました。

1 川崎未来エナジー株式会社の主な電力供給先（公共施設）

- ・市立学校等の教育関連施設（168施設）
- ・区役所、出張所等（11施設）
- ・その他（環境局所管施設・消防施設等）（22施設）

2 市から派遣する常勤取締役（令和6年4月1日付）

井田 淳（前 環境局脱炭素戦略推進室長 53歳）

3 会社概要

別紙のとおり

（問合せ先）

川崎市環境局総務部企画課 藤田
電話044-200-2385

～脱炭素社会の実現に向けた先導的な取り組み～

川崎未来エナジーが再エネ電力の供給を開始しました

地域の未来を、エネルギーと共に

川崎未来エナジーは、

電力・エネルギーの観点から地域課題にチャレンジしていく、

「未来型のエネルギー会社」です。

再エネ普及拡大や再エネ電力の地産地消を通じた

これまでにない再エネの社会実装モデル＝川崎モデルで、

脱炭素社会を実現します。



KAWASAKI
MIRAI
ENERGY

川崎未来エナジーは、川崎市域内で発電した再エネ電力を川崎市内の事業者に供給する、地産地消による再エネ電力の供給を令和6年4月より開始しました。

□事業の概要

市域の温室効果ガス削減に資するため、再エネ電力を調達し、供給することで、市域への再エネ普及・地産地消を推進するとともに、市民、事業者、金融機関等の多様なステークホルダーが参画できる地域エネルギープラットフォームの中核となることを目的とした地域エネルギー会社です。

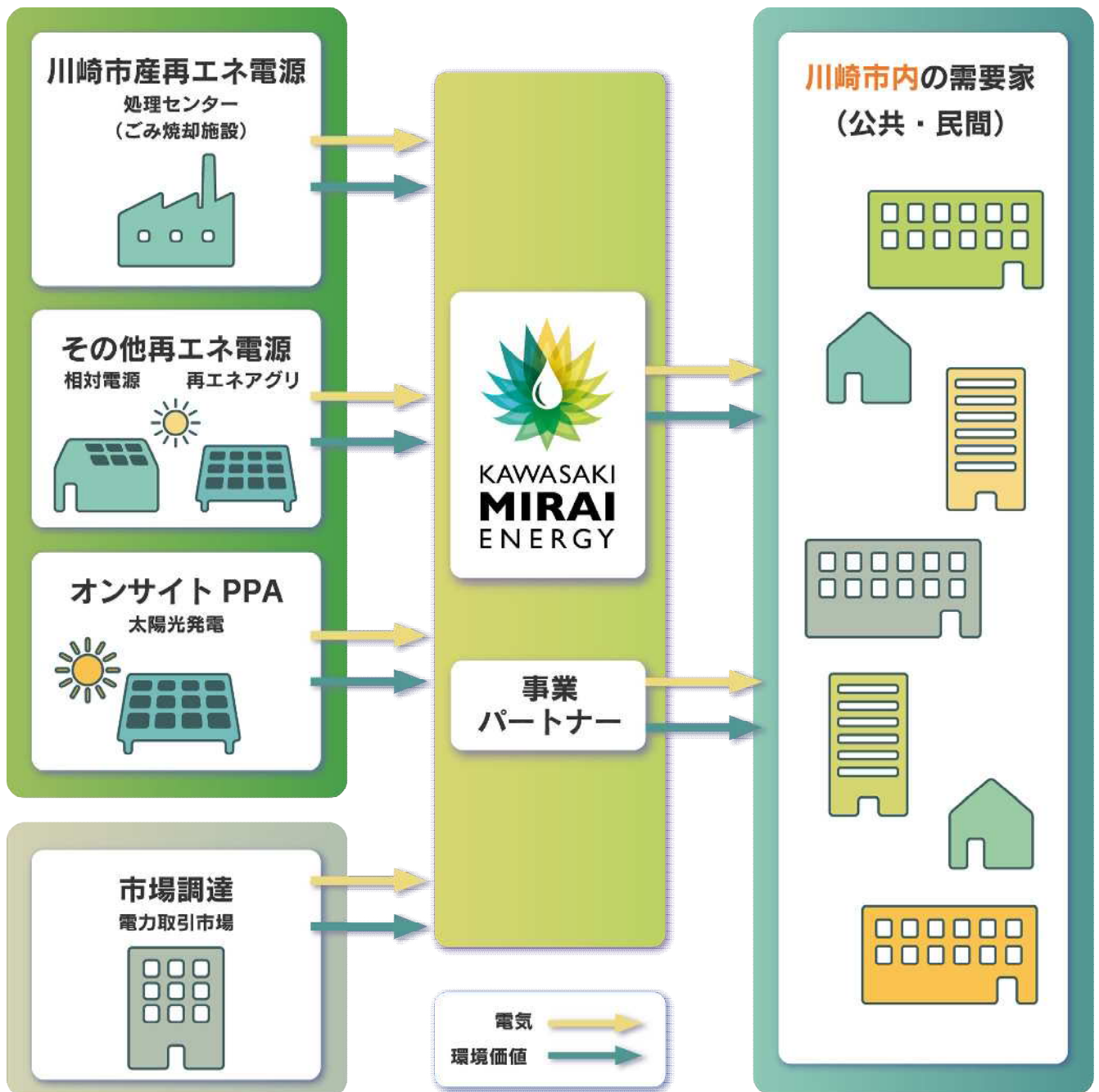
(1) 当社主な事業内容

再エネ電力供給事業（小売電気事業）

(*）今後再エネ電源開発、オンサイト PPA、環境教育事業等にも取り組んでいく予定です。

(2) 事業スキーム【小売電気事業】

市公共施設を中心とした電力供給を展開しつつ、事業開始当初は余剰電力を事業パートナーを介して市内民間施設等へ供給するなど、再エネの普及拡大や地産地消を推進します。



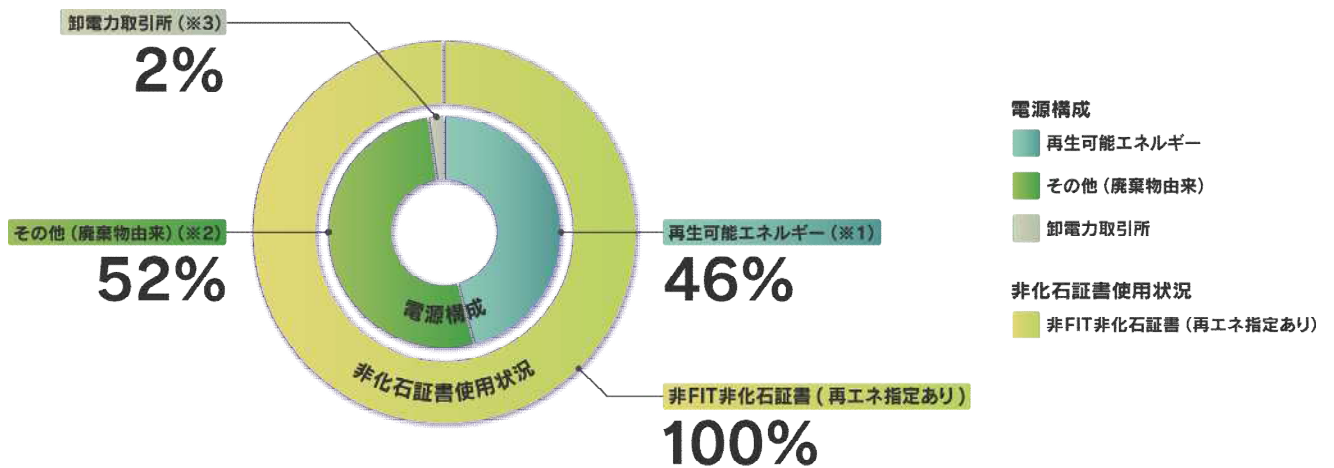
□サービスメニューの特長

コンセプトである再生可能エネルギーの地産地消を目指し、処理センター（ごみ焼却施設）などから再生可能エネルギー由来の電力を調達し、市内需要家を中心に電力を販売します。



□電源構成

2024 年度 計画値



CO2 排出係数計画値 (調整後排出係数) : 0.000000t-CO2/kWh

- (※1) 当社が調達先としている廃棄物発電所の電気のうち、生ごみ等のバイオマス分由来の発電分 (非 FIT・再生エネ) が該当します。
- (※2) 当社が調達先としている廃棄物発電所の電気のうち、プラスチック等のバイオマス分由来でない発電分 (非 FIT・非再生エネ) が該当します。
- (※3) この電気には、水力、火力、原子力、FIT 電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。

□会社概要

(1)会社名

川崎未来エナジー株式会社

(2)設立日

令和5年10月12日(木)

(3)所在地

川崎市幸区下平間347-1 NTT幸ビル内

(4)資本金

1億円

(5)組織体制(令和6年4月1日付)

(代表取締役)【常勤】

井田 淳 (前 川崎市環境局脱炭素戦略推進室長)

(取締役) 【非常勤】

竹廣 尚之 (NTTアノードエナジー株式会社 執行役員)

根本 敬太 (東急株式会社 文化・エンターテイメント事業部 事業統括グループ 担当部長)

菅谷 政昭 (川崎市環境局長) ※4月1日付で就任

(監査役) 【非常勤】

浅岡 浩 (川崎信用金庫 常勤理事)

依田 孝之 (株式会社横浜銀行 川崎地区本部 部長)

(6)事業開始日

令和6年4月1日(月)

<川崎未来エナジー株式会社の出資者と出資比率>

企業・団体名	出資比率
① 川崎市	51.0%
② NTTアノードエナジー株式会社	18.5%
③ 東急株式会社	10.0%
④ 株式会社東急パワーサプライ	8.5%
⑤ 川崎信用金庫	3.0%
⑥ セレサ川崎農業協同組合	3.0%
⑦ 株式会社きらぼし銀行	3.0%
⑧ 株式会社横浜銀行	3.0%

□会社ロゴ

コンセプトは「市の再エネ利活用の先進性・未来感をイメージ」です。
植物を意識したエコロジカルなカラーのグラデーションに、水滴のオブジェクトを乗せた、有機的で未来感のあるシンボルと、英語表記で「MIRAI」を強調した社名ロゴの組み合わせで、市の目指す脱炭素社会の実現を目指す、先導的な取り組みをシンボリックに表現しています。



KAWASAKI
MIRAI
ENERGY